



2010年3月期決算説明会

2010年5月18日(火)

いちよし証券株式会社
執行役社長 武樋 政司

I. 決算報告 2010年3月期決算報告(連結)

1. 収支の状況	4
2. 貸借対照表	5
3. 財務の状況	6
4. 純営業収益の内訳	7
5. 受入手数料の内訳	8
6. トレーディング損益	9
7. 販売費・一般管理費の内訳	10
8. コスト削減と小さな本社(単体)	11
9. 平成21年度上半期の実行事項(2009.4-2009.9)	12
10. 平成21年度下半期の実行事項(2009.10-2010.3)	13

II. 業績の推移

1. 営業基盤の拡大-預り資産の増大	15
2. 営業基盤の拡大-預り資産の増大(投信)	16
3. 預り資産の増加戦略	17
4. 投信預り資産の増加戦略	18
5. 顧客管理-預り口座数の推移(リテール)	19
6. 商品戦略-投資信託の募集解約・純増額(月額)	20
7. 収支構造の改善-コストカバー率の推移(月額平均)	21
8. 収支構造の改善-株式市場の変動に影響されない収支構造	22
9. 既存ビジネスの収益力の厚み増加-主幹事会社目標	23

Ⅲ. 新中期経営計画と成長戦略

1. 新中期経営計画の数値目標	25
2. 新中期経営計画の8つの基本戦略	26
成長戦略 1	27
成長戦略 2	28
成長戦略 3 –「ブランド・ブティックハウス」構築	29
成長戦略 4 –「トライアングル・ピラミッド経営」の強化	30
成長戦略 5 –商品戦略①	31
成長戦略 6 –商品戦略②	32
成長戦略 7 –チャネルの多様化	33

Ⅳ. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 株主構成の推移	35
2. ガバナンス体制	36
3. 利益還元	37

I . 決算報告
2010年3月期決算報告(連結)

1. 収支の状況

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前年増減率
	1Q~4Q	1Q~4Q	
営業収益	14,256	15,744	10.4%
販管費	17,345	15,427	△11.1%
経常利益	△3,261	140	—
特別利益	331	109	△67.0%
特別損失	1,212	160	△86.7%
法人税、住民税 及び事業税	57	56	△2.3%
法人税等調整額	602	△5	—
四半期 純利益	△4,804	40	—

2009年3月期				2010年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
5,042	3,598	2,849	2,766	4,150	4,005	3,760	3,827
4,676	4,406	4,215	4,045	4,036	3,902	3,793	3,695
405	△886	△1,361	△1,418	127	12	△42	43
145	189	△1	△2	31	51	21	4
4	657	421	128	50	27	75	6
18	8	11	20	10	16	10	18
177	△147	575	△3	0	△3	1	△3
351	△1,217	△2,372	△1,566	98	23	△108	27

- ①新株予約権戻入益 45百万円
- ②金融商品取引責任準備金戻入 29百万円
- ③投資有価証券売却益 19百万円

- ①貸倒引当金繰入 71百万円
- ②一吉香港清算損 34百万円
- ③投資有価証券評価損 23百万円

*連結比率=89.9:10.1
(営業収益ベース)

2. 貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前年増減額	
資産の部				
流動資産	27,448	29,234	1,785	信用取引貸付金 3,382百万円 募集等払込金 4,495百万円 現金・預金 △6,274百万円
固定資産	9,147	8,020	△1,127	長期差入保証金 △462百万円 建物、器具備品 △311百万円 投資有価証券 △199百万円
資産合計	36,596	37,254	658	
負債の部				
流動負債	7,924	9,402	1,477	信用取引借入金 1,015百万円 信用取引貸証券受入金 464百万円
固定負債	346	796	449	長期借入金 438百万円
負債合計	8,439	10,337	1,897	
純資産の部				
純資産合計	28,156	26,917	△1,238	配当金支払額 △964百万円
負債・純資産合計	36,596	37,254	658	

3. 財務の状況

	2009年3月期	2010年3月期	前年増減額
自己資本比率（％）	76.7	72.1	△4.6ポイント
1株当たり純資産（円）	640.42	619.13	△21.29円
自己資本規制比率（％）	383.8	494.1	110.3ポイント
1株当たり四半期（当期） 純利益（円） （累計期間）	△106.03	0.93	—
自己資本四半期（当期） 純利益率（ROE）（％） （累計期間）	△15.1	0.1	—

4. 純営業収益の内訳

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率	2009年3月期				2010年3月期			
	1Q~4Q	1Q~4Q		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受入手数料	12,557	13,912	10.8%	4,446	3,103	2,556	2,451	3,671	3,572	3,303	3,363
トレーディング損益	759	934	23.0%	292	267	97	101	258	214	235	226
その他の営業収益	606	645	6.3%	195	124	129	156	158	149	157	180
金融収支	237	168	△29.0%	78	72	47	38	37	46	44	40
合計	14,161	15,661	10.6%	5,013	3,568	2,831	2,748	4,126	3,984	3,740	3,810

5. 受入手数料の内訳

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
	1Q~4Q	1Q~4Q	

委託手数料の主な内訳			
株 券	4,544	5,068	11.5%

募集売出しの主な内訳			
投 信	2,064	3,731	80.8%

引受売出しの主な内訳			
新 規 公 開	8	25	216.4%
既 公 開	30	117	285.5%
計	38	143	271.0%

その他の主な内訳			
受 益 証 券	4,760	4,251	△10.7%
そ の 他	1,080	652	△39.6%
計	5,841	4,903	△16.0%

(単位:億円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
投信募集額	1,137	1,877	65.1%
投信残高	6,044	6,834	13.1%

(単位:百万円)

2009年3月期				2010年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

1,776	875	1,033	858	1,623	1,337	937	1,169
-------	-----	-------	-----	-------	-------	-----	-------

853	497	279	434	754	978	1,044	954
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----

1	1	3	1	0	7	0	17
—	0	—	30	—	14	100	2
1	1	3	31	0	22	101	20

1,433	1,394	1,012	920	1,015	1,070	1,099	1,065
364	323	204	187	261	153	94	143
1,798	1,718	1,216	1,108	1,277	1,223	1,193	1,208

投信募集額上位3銘柄 (単位:億円)

2010年3月期	
①グローバルソブリン	590
②世界の大家さん	297
③メロン世界新興国	184

6. トレーディング損益

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
	1Q~4Q	1Q~4Q	
株 券 等	425	455	7.2%
債券・為替等	334	478	43.2%
合 計	759	934	23.0%

(単位:百万円)

2009年3月期				2010年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
145	115	77	86	171	61	88	133
147	152	19	15	86	152	146	92
292	267	97	101	258	214	235	226

(単位:億円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率
外債の販売額	211	236	11.8%

7. 販売費・一般管理費の内訳

(単位:百万円)

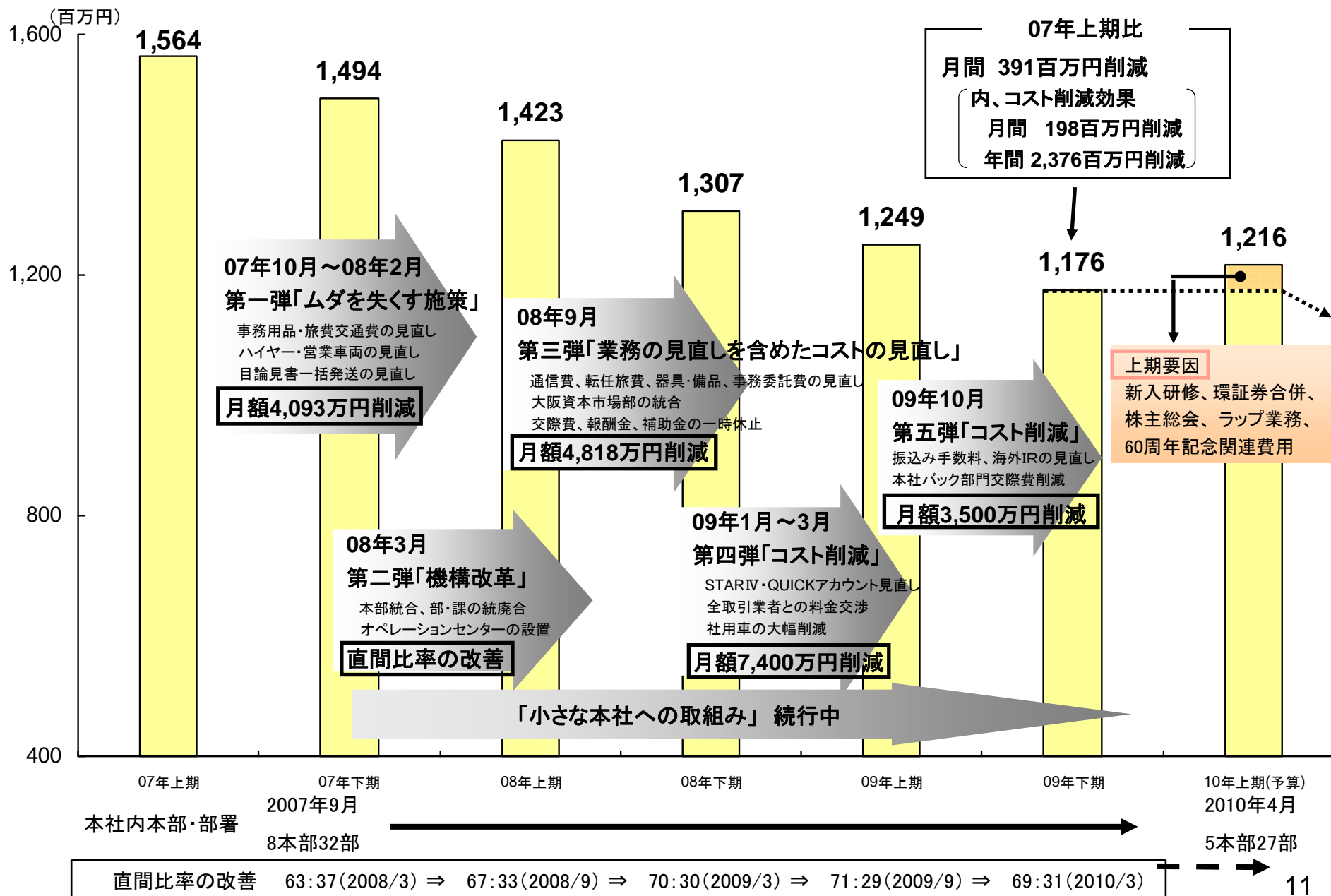
<主な減額要因>

	2009年3月期	2010年3月期	増減率	増減額
	1Q~4Q	1Q~4Q		
取引関係費	2,139	1,463	△31.6%	△675
人件費	8,898	8,580	△3.6%	△318
不動産関係費	1,925	1,757	△8.7%	△167
事務費	2,628	2,142	△18.5%	△485
減価償却費	844	711	△15.8%	△133
租税公課	156	172	10.0%	15
その他	750	598	△20.3%	△152
合計	17,345	15,427	△11.1%	△1,917

(単位:百万円)

- ①広告宣伝費 △392
 - ②振込手数料 △87
 - ③電話・郵送代 △82
 - ④旅費交通費 △62
 - ⑤交際費 △45
-
- ①給料 △213
 - ②役員報酬 △90
 - ③福利厚生費 △82
-
- ①NRI △172
 - ②人材派遣 △105
 - ③NCS等 △63
 - ④事務用品等 △47
-
- ①クイック等 △82
 - ②教育研修費 △41
 - ③従業員採用費等 △16
 - ④図書費等 △7

8. コスト削減と小さな本社(単体)



9. 平成21年度上半期の実行事項(2009.4－2009.9)

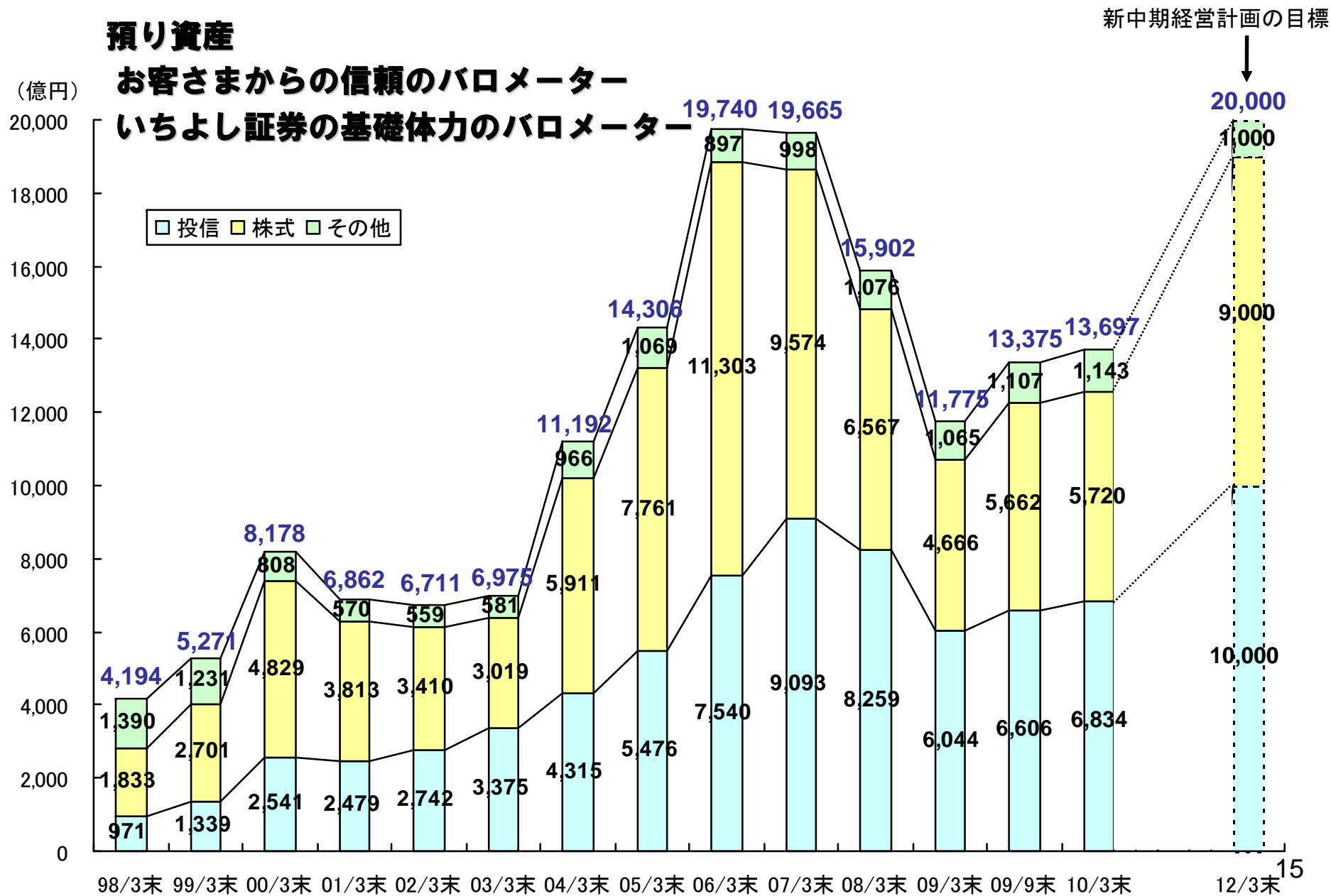
項 目	内 容
1 新中期経営計画の数値目標改訂	<ul style="list-style-type: none"> ・預り資産2兆円 ← (2兆5,000億円) ・主幹事35社 ← (30社) ・ROE10～15%程度 ← (20%程度)
2 いちよしグループの機能の見直し	いちよしIR研究所、一吉香港の閉鎖
3 筋肉質な体質作り	「小さな本社」と「業務の効率化」
4 役員報酬15%、上級職給与5%カット	(2009年4月～)
5 スtockオプションの実施	上級職へ付与(288,200株)
6 中間配当12円	DOE4%程度
7 「いちよし開発」新規募集投信	<p style="text-align: right;">(9月末残高)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HSBC 中国クオリティ株式オープン」(4月)・・・69億円 ・「いちよし中小型株リカバリー・ファンド(リトルヒーローズ)」(6月)・・・62億円 <li style="padding-left: 20px;">いちよし投資顧問一任運用の中小型日本株投信 <li style="padding-left: 20px;">証券界では2007年11月以来となる中小型株投信 ・「HSBC インド・インフラ株式オープン」(9月)・・・81億円

10. 平成21年度下半期の実行事項(2009.10—2010.3)

項 目		内 容
1	成長戦略の布石と実行	中期経営計画の実行と、長期成長戦略として預り資産「5兆円」の「ブランド・ブティックハウス」の姿
2	成長戦略の一環 — チャネルの多様化	1. 地方証券との提携 ①環証券との合併（4月12日オープン 環支店、環串本支店） ②飯田証券のグループ会社化（2月24日払込み 所有割合34.3% 持分法適用関連会社） 2. 分支店化 ・児島支店の開設（4月1日）
3	筋肉質な体質作り	「小さな本社」と「業務の効率化」
4	期末配当予定12円	DOE4%程度
5	いちよしの総合力	「ファンドラップ」事業を、いちよし投資顧問より吸収し、証券本体での運用を開始（5月6日）
6	自己株式の取得	計441,800株（244百万円相当）
7	2009年 コーポレート・ガバナンスランキング18位	日本コーポレートガバナンス研究所（JCGR）発表、東証一部上場企業約1,700社中18位72点で「高JCG・インデックス企業」に選ばれた

Ⅱ．業績の推移

1. 営業基盤の拡大—預り資産の増大

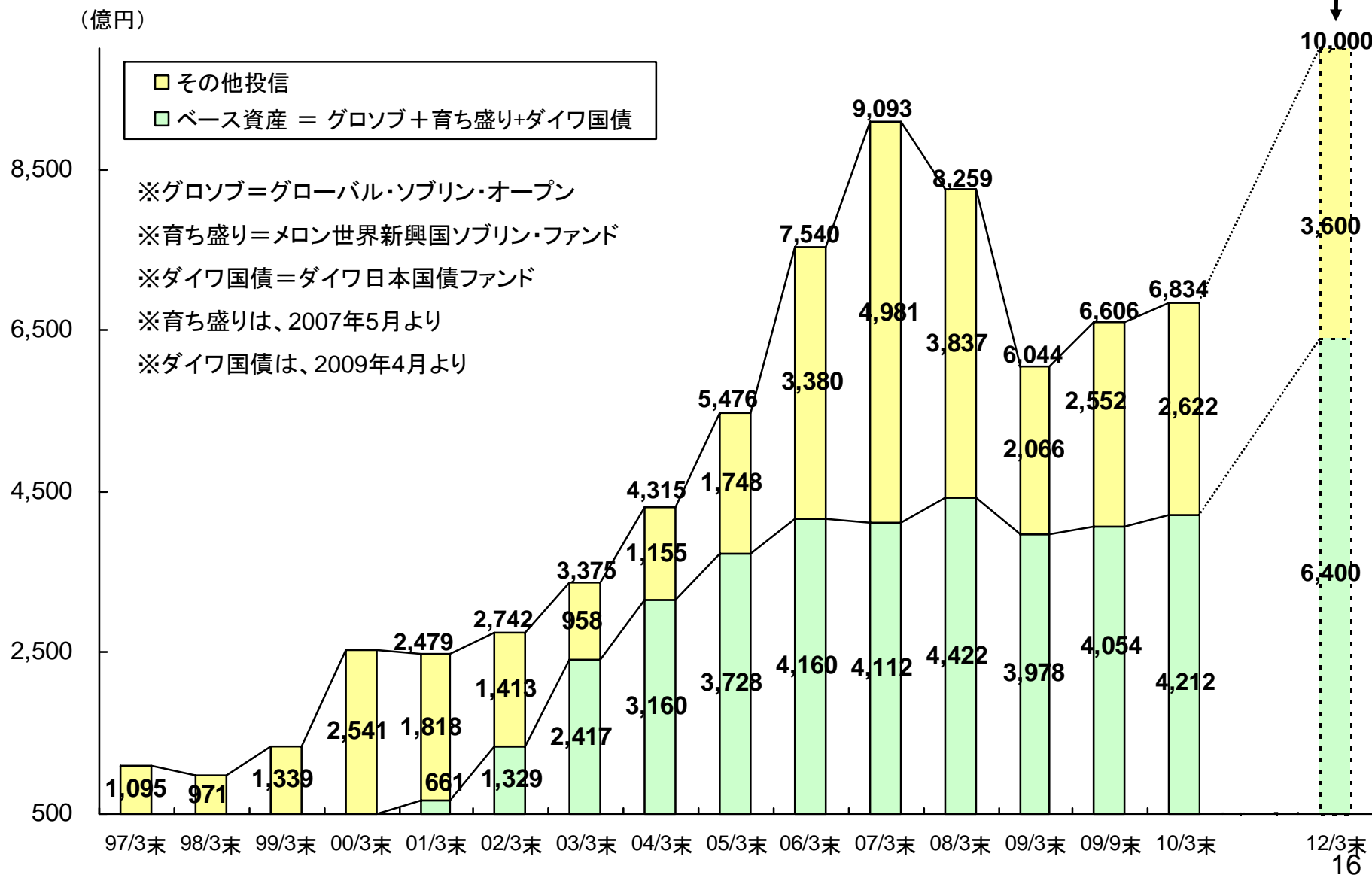


2. 営業基盤の拡大—預り資産の増大(投信)

いちよし証券

投信の土台再構築 ⇒ より裾野の広い土台を作る

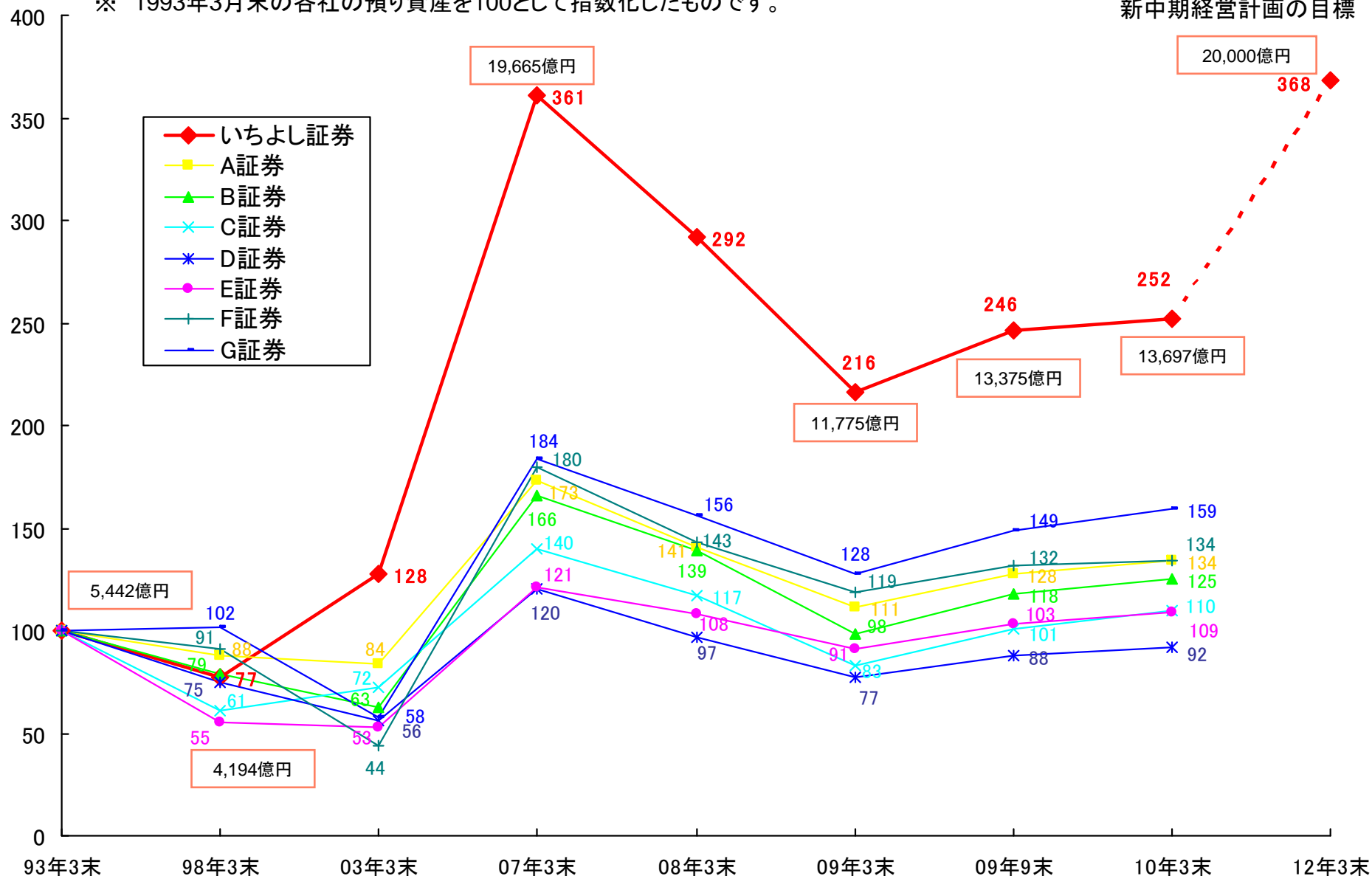
新中期経営計画の目標



3. 預り資産の増加戦略

※ 1993年3月末の各社の預り資産を100として指数化したものです。

新中期経営計画の目標

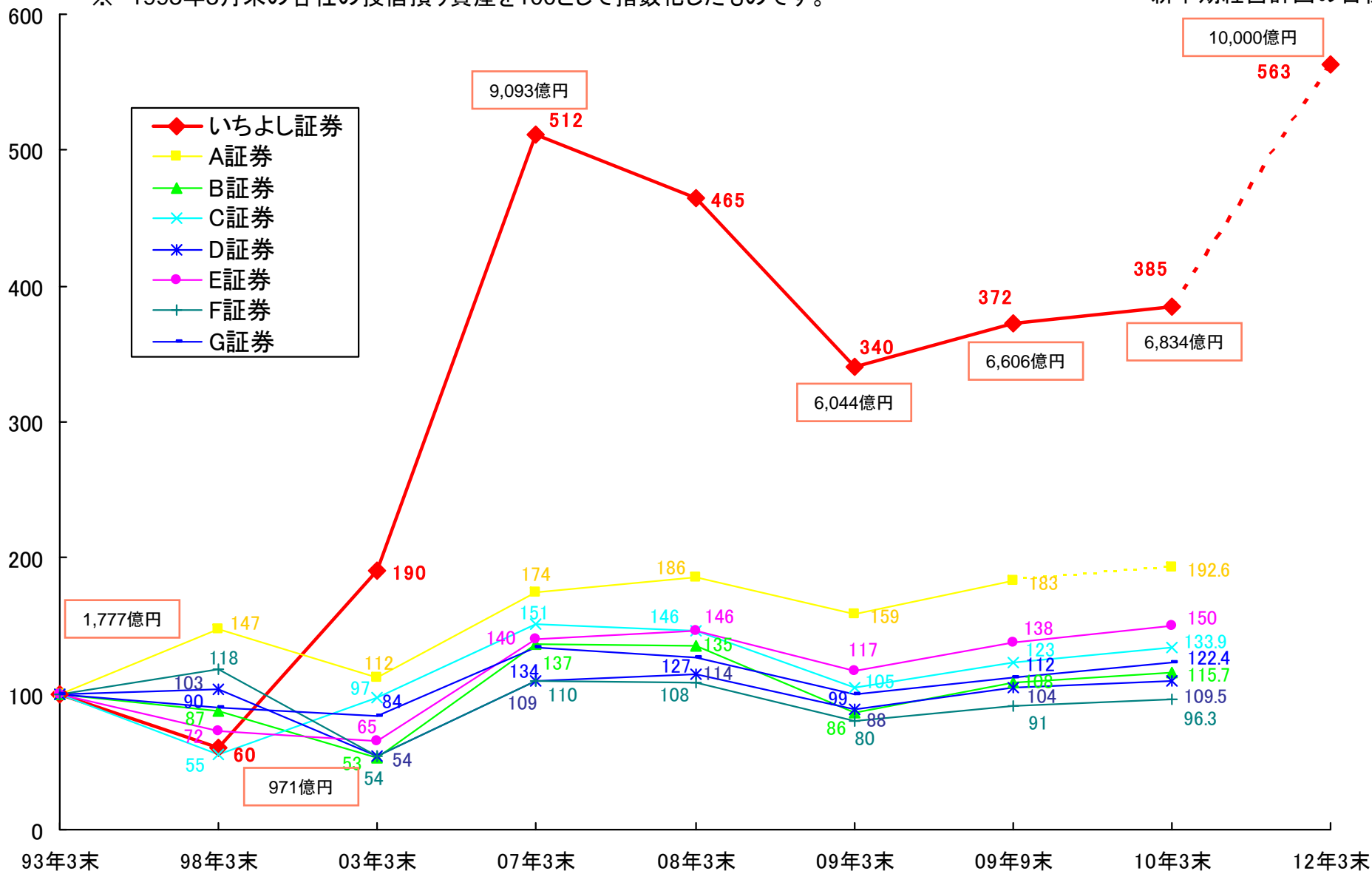


- ・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。(専門ネット証券会社を除く。)
- ・出所: 情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

4. 投信預り資産の増加戦略

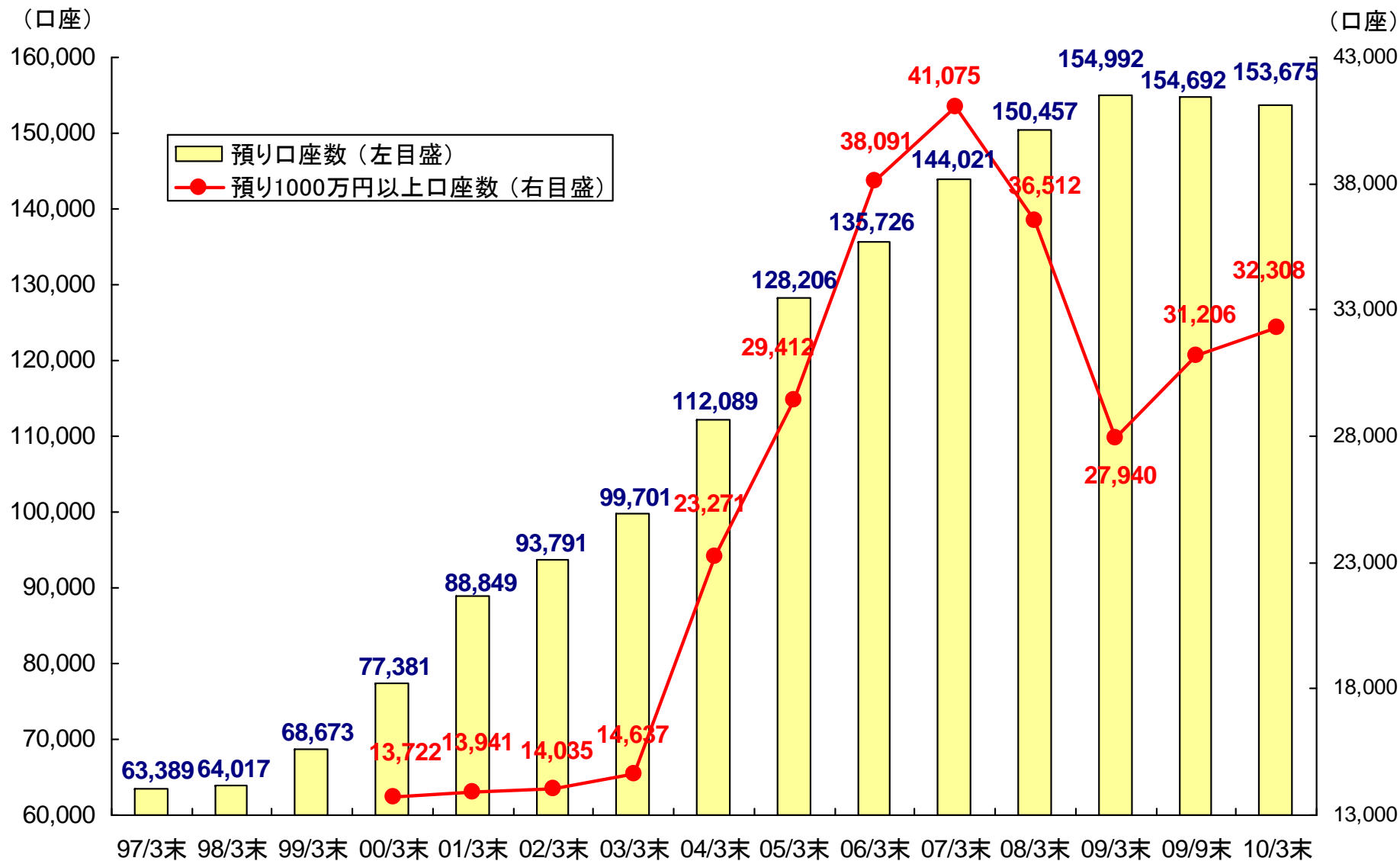
※ 1993年3月末の各社の投信預り資産を100として指数化したものです。

新中期経営計画の目標



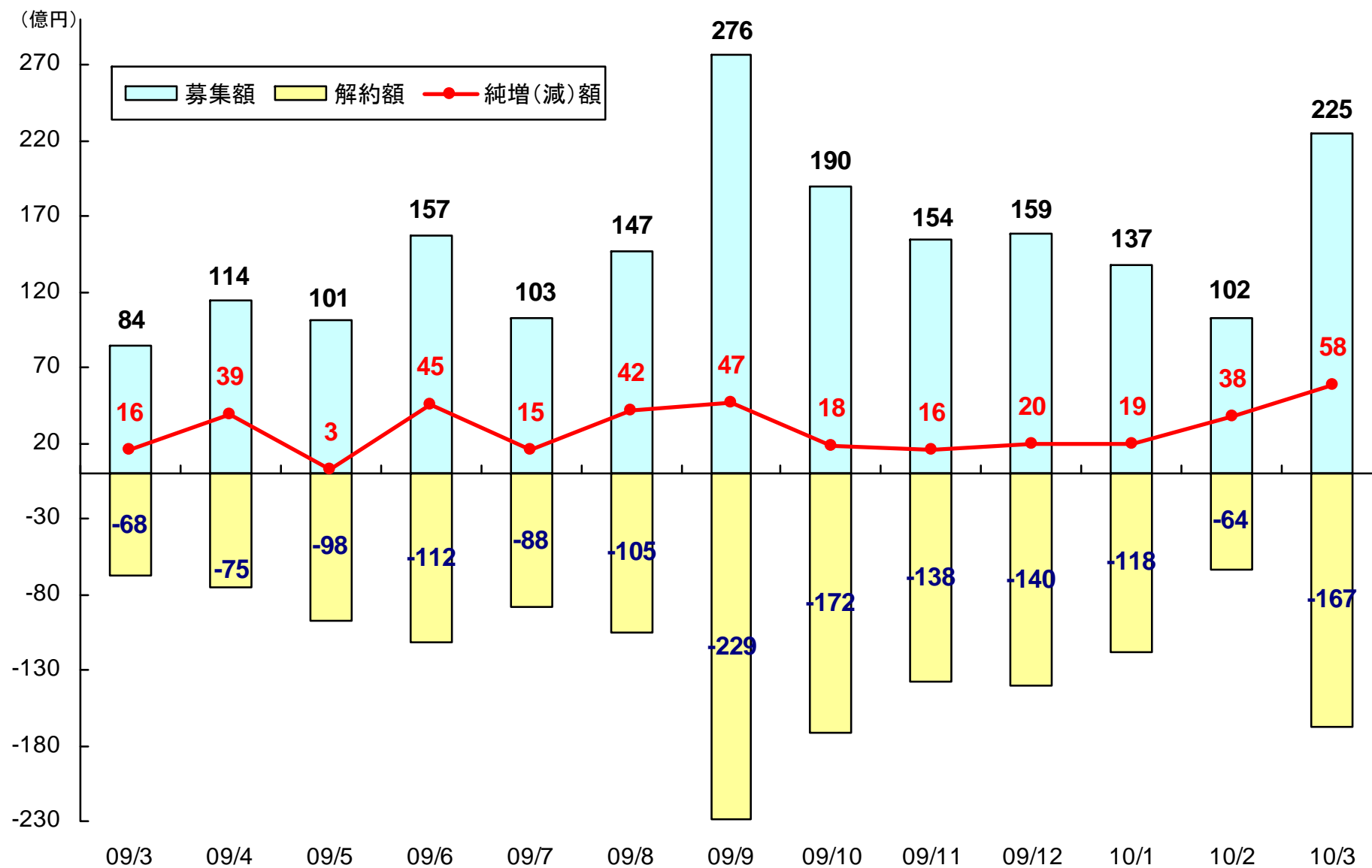
- ・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ合併していない証券会社。(専門ネット証券会社を除く。)
- ・出所: 情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

5. 顧客管理－預り口座数の推移(リテール)

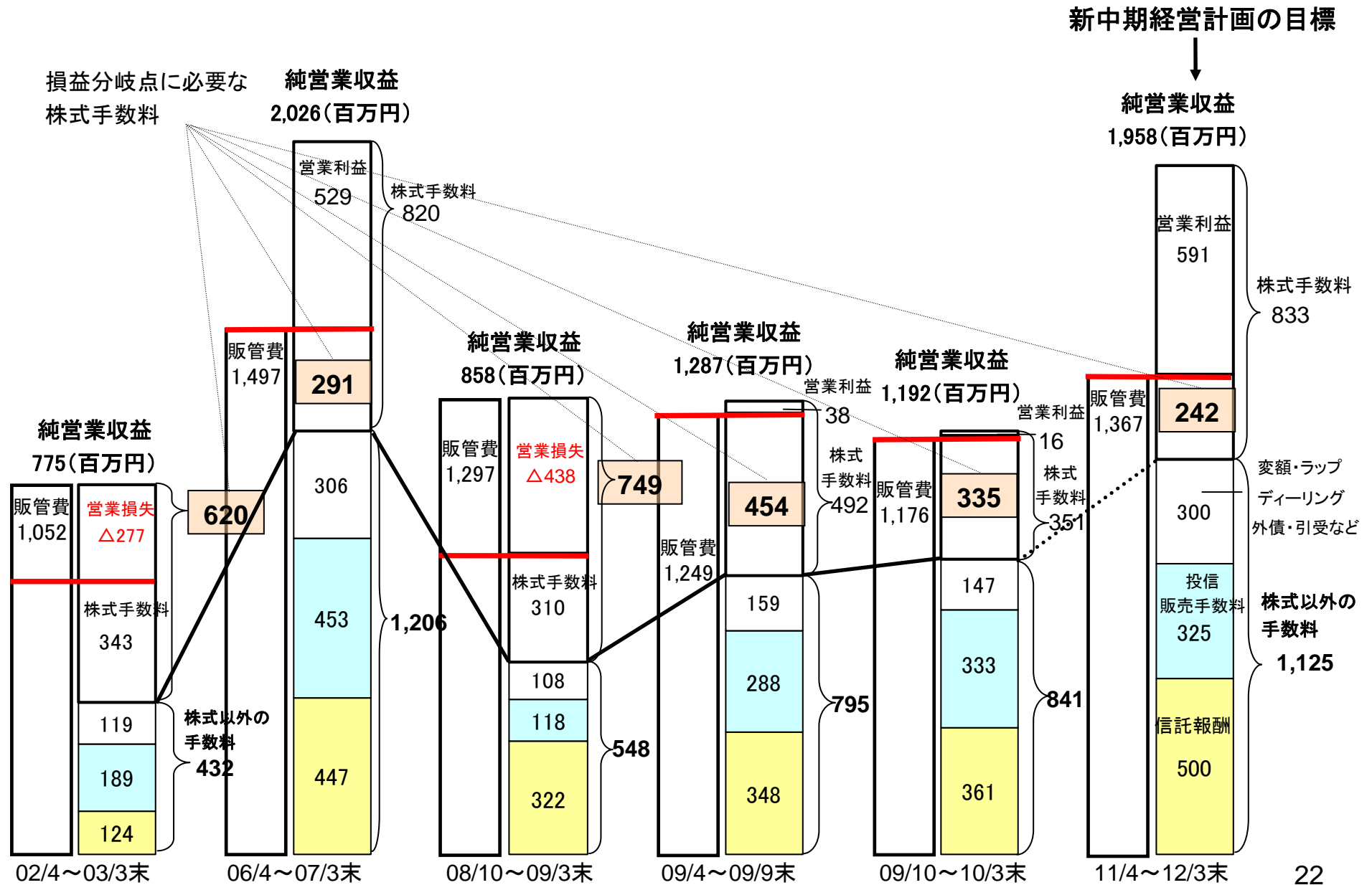


1,000万円以上 口座の割合	18%	16%	15%	15%	21%	23%	28%	29%	24%	18%	20%	21%
--------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

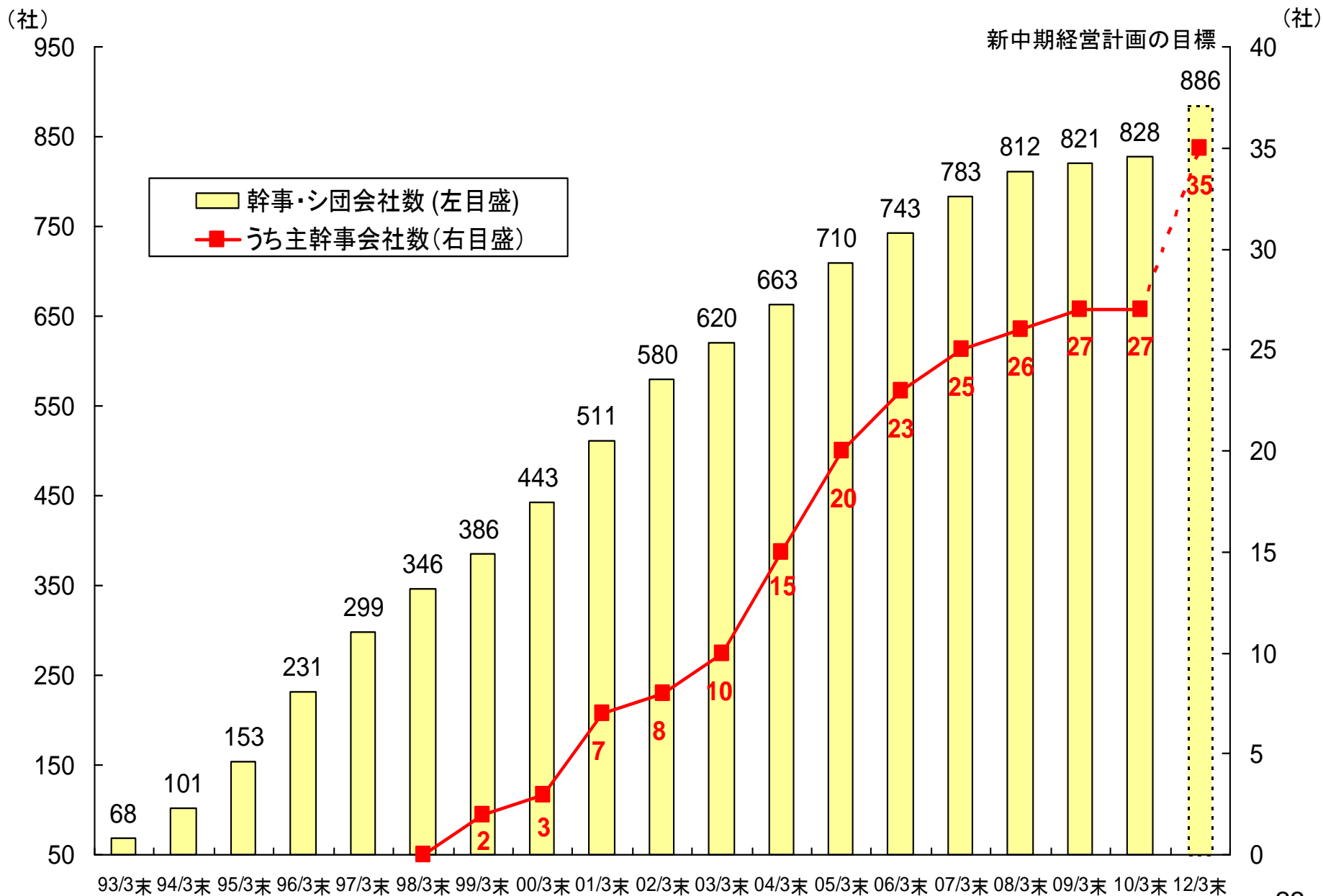
6. 商品戦略一投資信託の募集解約・純増額（月額）



8. 収支構造の改善－株式市場の変動に影響されない収支構造 ■ ■ ■ いちよし証券



9. 既存ビジネスの収益力の厚み増加ー主幹事会社目標



Ⅲ. 新中期経営計画と成長戦略

1. 新中期経営計画の数値目標

計画期間:【2009年4月～2012年3月末】の3年間

預り資産	2兆円 (1兆3,697億円)
主幹事会社	35社 (27社)
ROE	10～15%程度 (1.3%)

()内は2010/3月末の数値

前提条件	2012年3月末
日経平均株価	15,000円
ドル／円	110円
長期金利	1.7%

2. 新中期経営計画の8つの基本戦略

項 目		内 容	
1	営業基盤の拡大	預り資産の増大 (1)顧客戦略 ・富裕層顧客の預り資産の拡大	(2)商品戦略 ・中長期／分散投資が基本スタンス 「ベース資産を拡大しながら、エクイティ・シフトをしよう」
2	収支構造の改善の継続	株式市場の変動に影響されない収支構造 (1)安定収益 → 投信残の拡大(カバー率アップ) (2)株式以外の収入でコストをカバーする (3)コスト削減、小さな本社作り	
3	既存ビジネスの収益力の厚み増加	中小型株特化の収益力アップ (1)中小型株、中小型株投信等 (2)投資銀行業務／引受・M&A関連業務	
4	いちよしの総合力	『トライアングル・ピラミッド経営』の強化 (1)本社・本部のバックアップ体制によるシナジー効果の発揮 (2)関連会社をも巻き込むシナジー効果の発揮	
5	コンプライアンスの実践	コンプライアンスは競争力の源泉 (1)法令遵守は絶対 (2)クレドの精神に合った適合性重視	
6	チャネルの多様化	成長戦略の一環 (1)分支店化 (2)地方証券との関係構築 (3)ダイレクト室の強化	(4)CSA制度 (5)ACO制度 (6)金融商品仲介業・顧客紹介業
7	人材育成	人材こそが成長の源泉 (1)若手アドバイザーの育成 (2)アドバイザーの質の向上 (3)本社部門の専門性アップ	
8	クレドの徹底	永続的な繁栄を支える「価値基準」	

金融サービス大競争時代の勝ち組の条件＝差別化

既存のビジネスモデル

- ・ 大規模デパート型（大手証券、大手銀行、銀行系証券）
- ・ ホールセール特化型（外資系投資銀行、外資系証券）
- ・ ディスカウンター型（ネット証券）
- ・ 地方商店型（地方地場証券）



ブランド・ブティックハウス型：いちよし証券

差別化: 「いちよし」の強みを掘り下げる

- ① 個人富裕層の金融資産運用サービス特化
- ② 中小型株特化と中堅企業ニーズ対応サービス特化

成長戦略 2

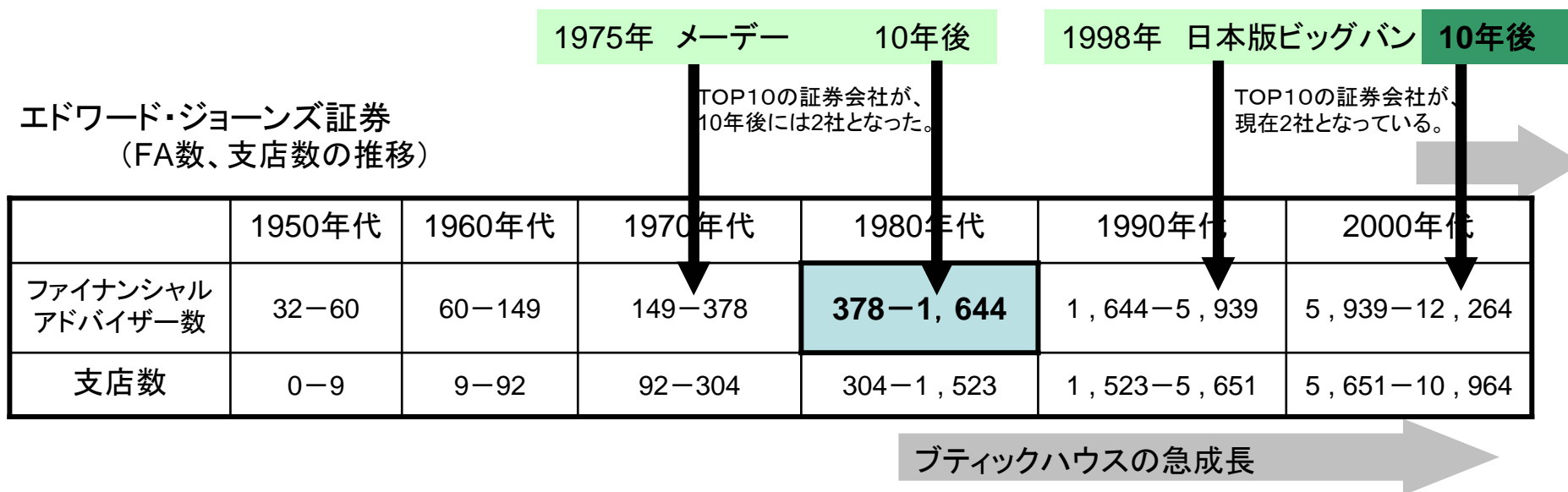
米国のブランド・ブティックハウス型証券会社 = いちよしの10数年来のモデル

1. エドワード・ジョーンズ証券 「個人富裕層の金融資産運用サービス特化」

アメリカですでにこの分野で大きく成長したブティック型証券会社

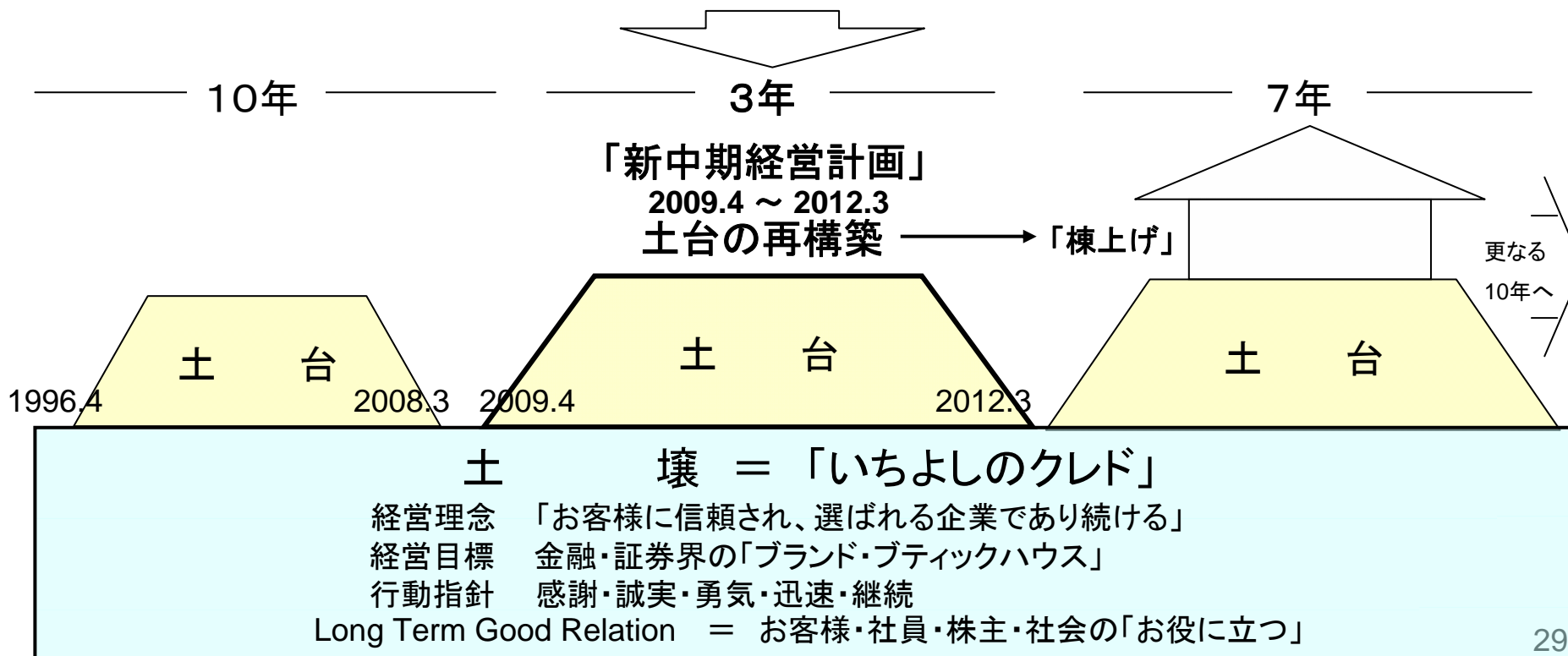
2. アレックス・ブラウン証券 「中小型株特化と中堅企業ニーズ対応サービス特化」

中小型株式のリサーチ・IPO・富裕層への販売でアメリカで大きく成長したブティック型証券会社

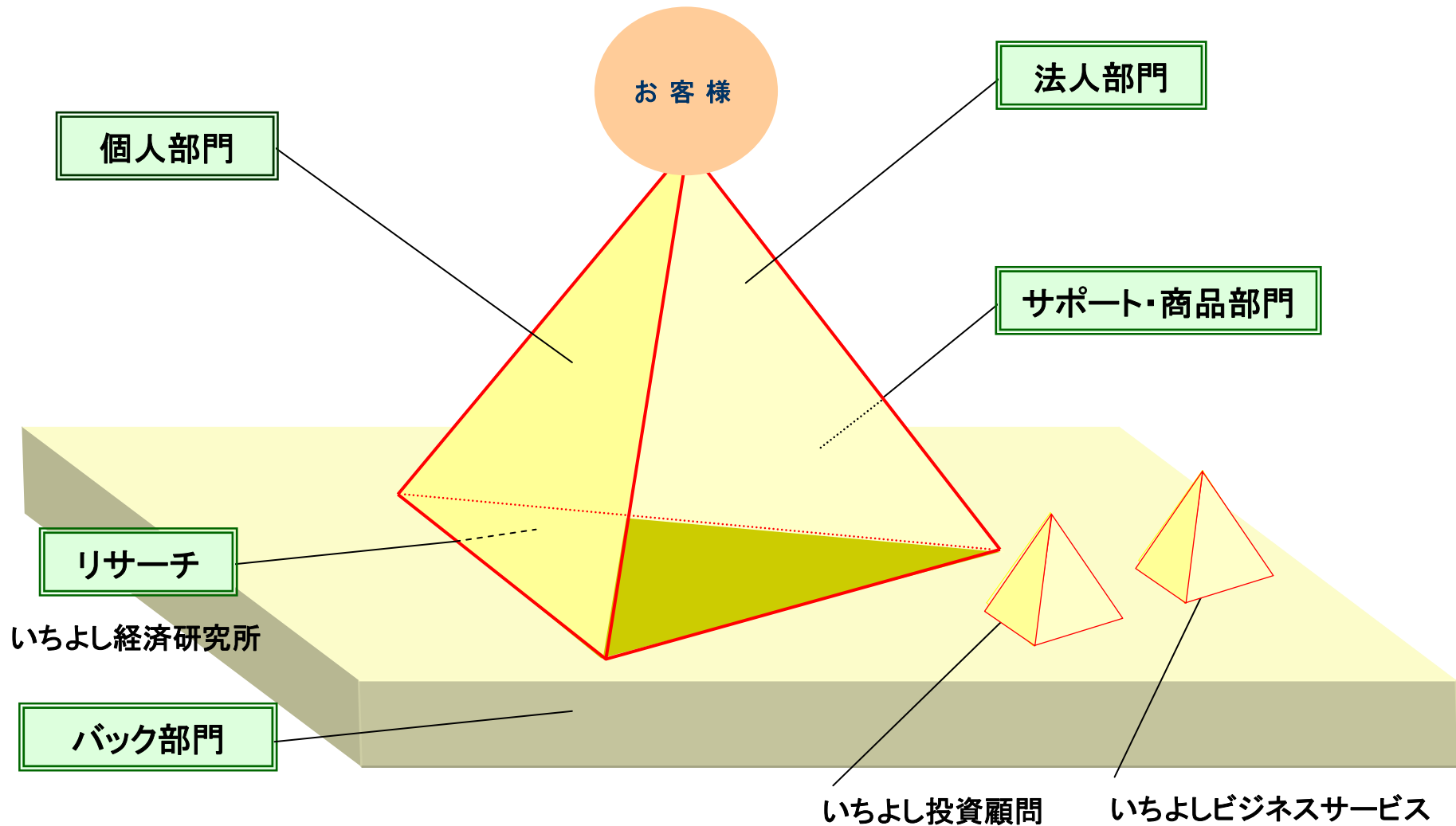


(出所: 同社ホームページ開示資料をもとに いちよし証券が作成)

成長戦略 3-「ブランド・ブティックハウス」構築



お客様に「より良い商品、より良い情報、より良いサービス」を提供する為に



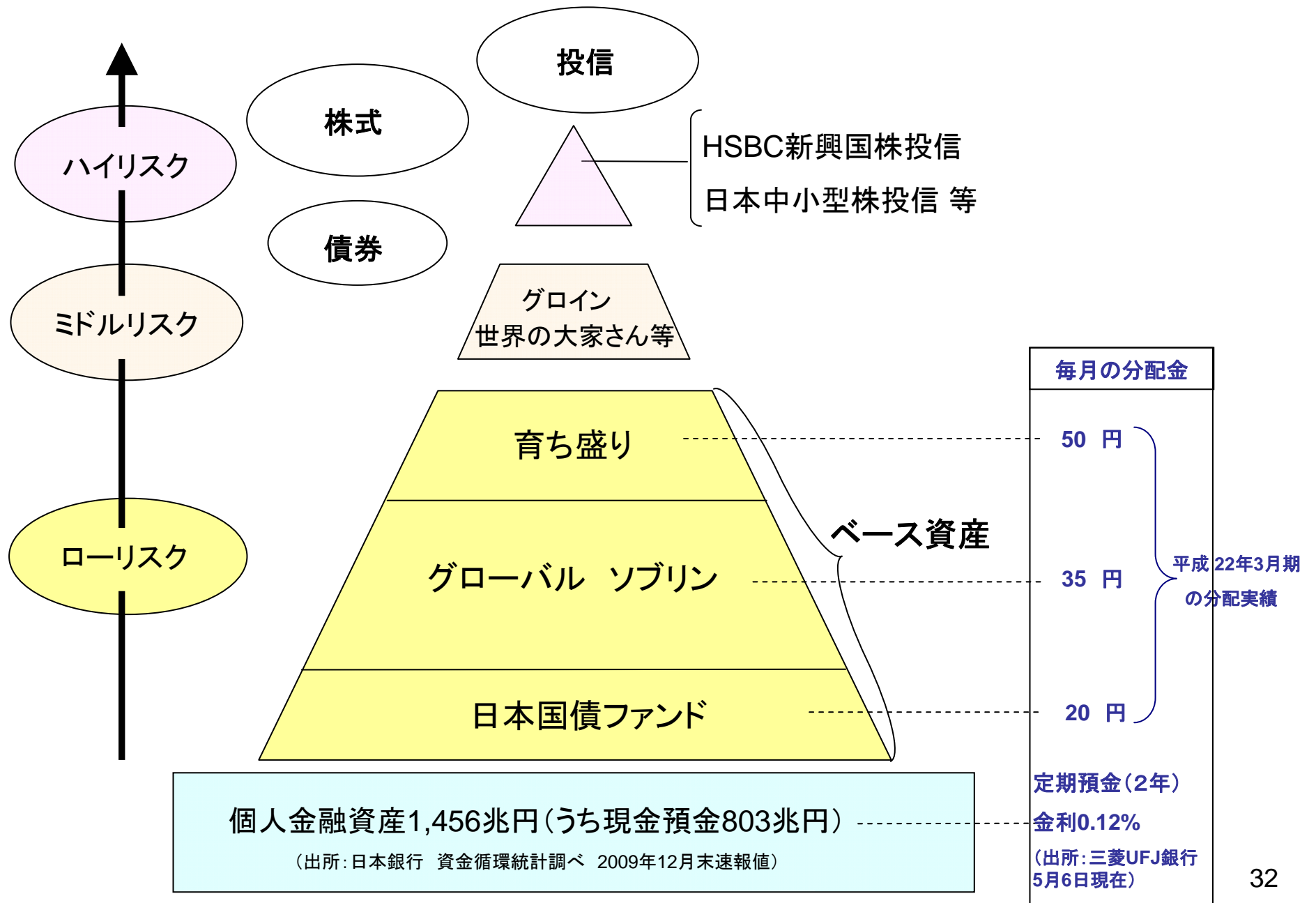
個人のお客様向け商品についての原理原則

“売れる商品でも売らない信念” — いちよし基準（10年来実施）

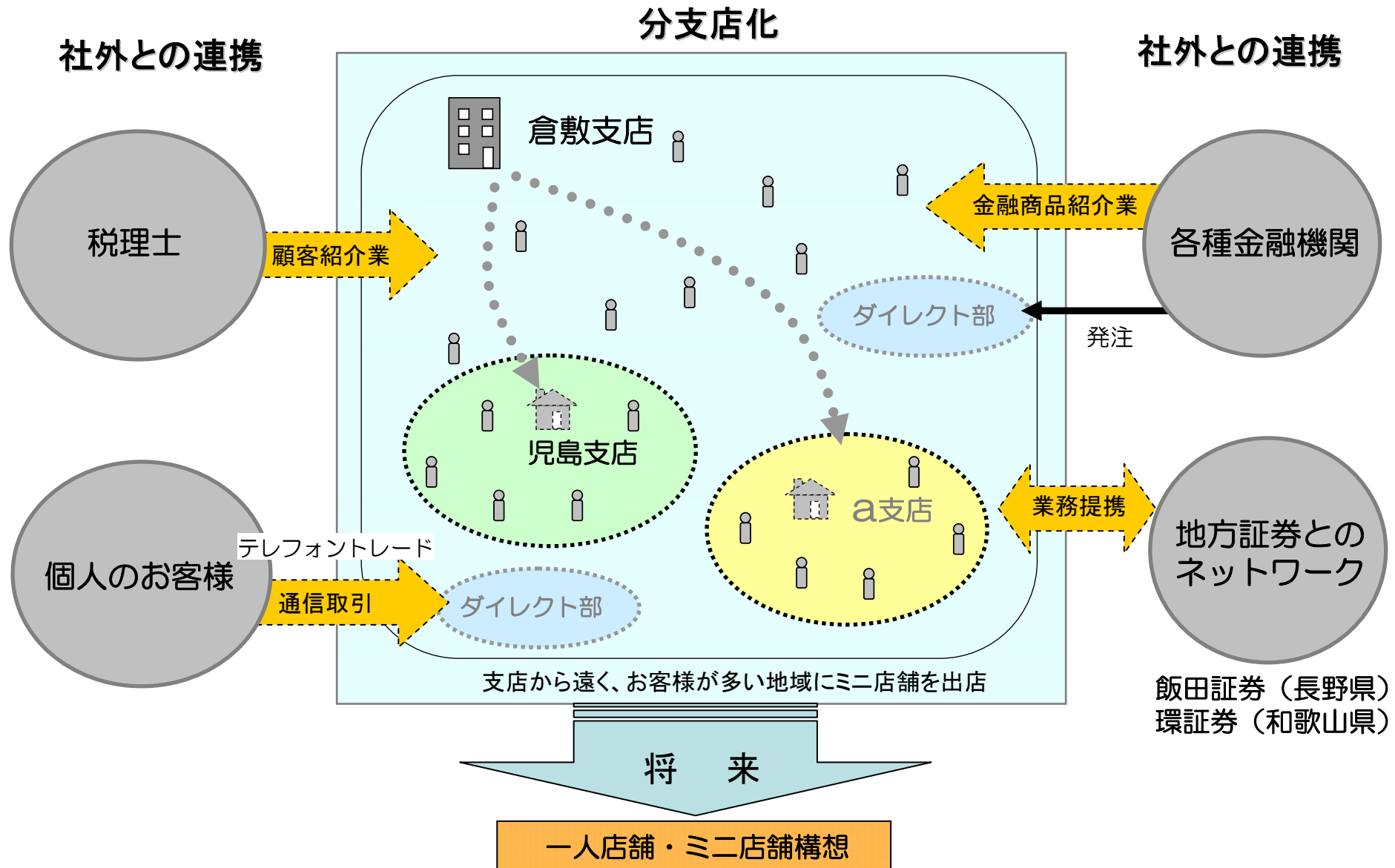
- ・ 公募仕組み債は取り扱いしません。
- ・ 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いしません。
- ・ 私募ファンドを取り扱いません。
- ・ 個別外国株は、勧誘しません。外国株は投信での保有をお勧めします。
- ・ 投信運用会社の信頼性、継続性で選びます。
- ・ 先物・オプションは勧誘しません。
- ・ FX(外為証拠金取引)は、取り扱いしません。



成長戦略 6－商品戦略②



成長戦略 7-チャネルの多様化



IV. コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. 株主構成の推移

1997年3月31日時点

	株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1	野村証券	2,928	5.0
2	三和銀行	2,928	5.0
3	大和銀行	2,928	5.0
4	東京三菱銀行	1,989	3.4
5	日本長期信用銀行	1,724	2.9
6	野村土地建物	1,550	2.6
7	住友銀行	1,308	2.2
8	東洋信託銀行	1,191	2.0
9	野村総合研究所	1,100	1.8
10	一吉証券従業員持株会	935	1.6
合計		18,581	31.7

2010年3月31日時点

	株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1	野村土地建物	5,298	12.2
2	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	2,068	4.7
3	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1,996	4.5
4	ジェイピーモルガンクリアリングコープセク	1,369	3.1
5	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,072	2.4
6	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	959	2.2
7	野村総合研究所	879	2.0
8	三信	869	2.0
9	メロンバンク エヌエーティー クライアント オムニ パス	694	1.5
10	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	691	1.5
合計		15,900	36.6

 銀行

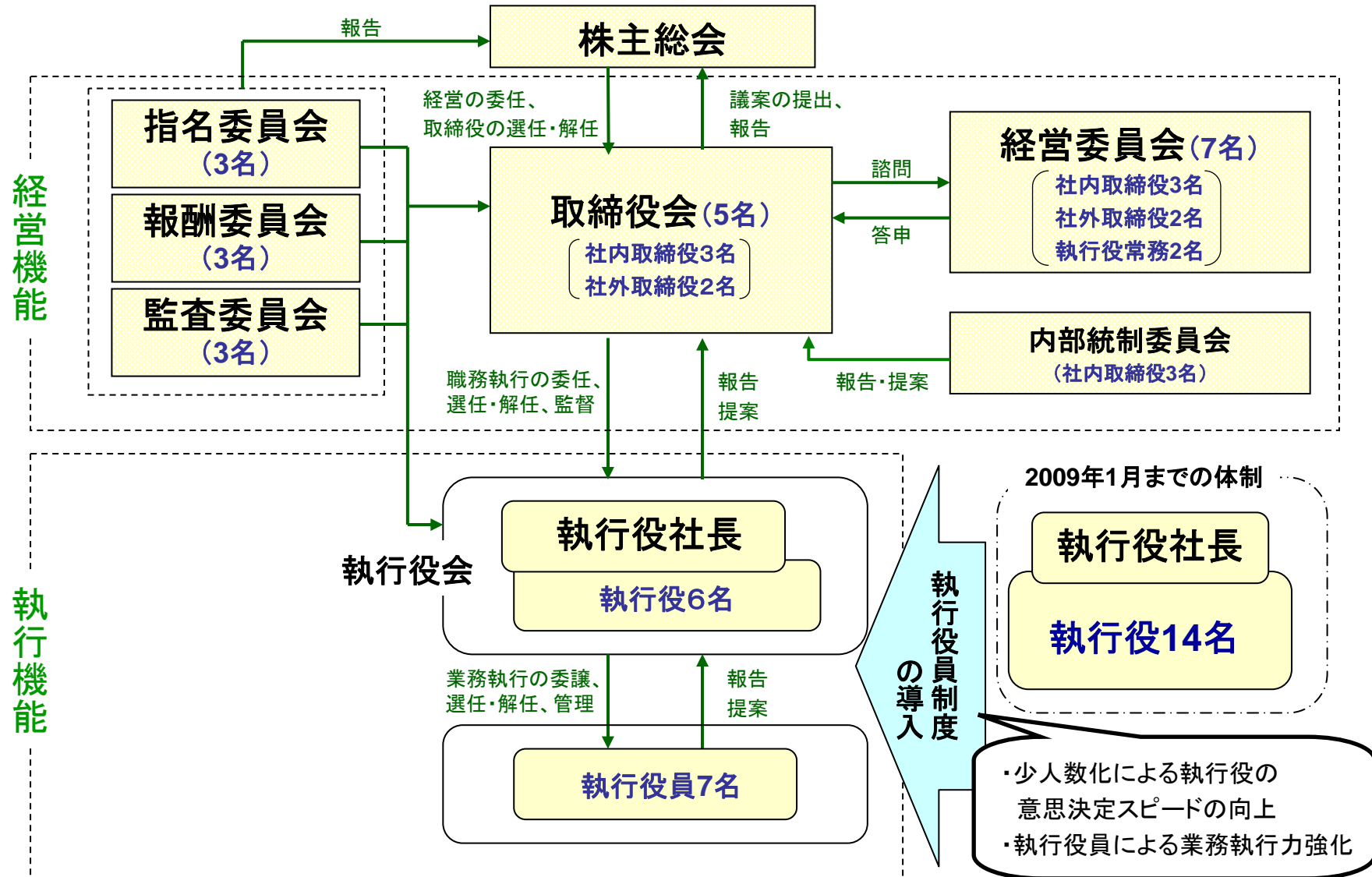
(注) 当社は、自己株式1,023,061株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、出資比率は自己株式を控除して算出しております。

	1997年3月末	2009年3月末	2010年3月末
個人	35.1%	38.7%	40.1%
外国人	11.4%	28.0%	27.1%
信託銀行	4.3%	9.5%	9.5%

2. ガバナンス体制

「委員会設置会社」

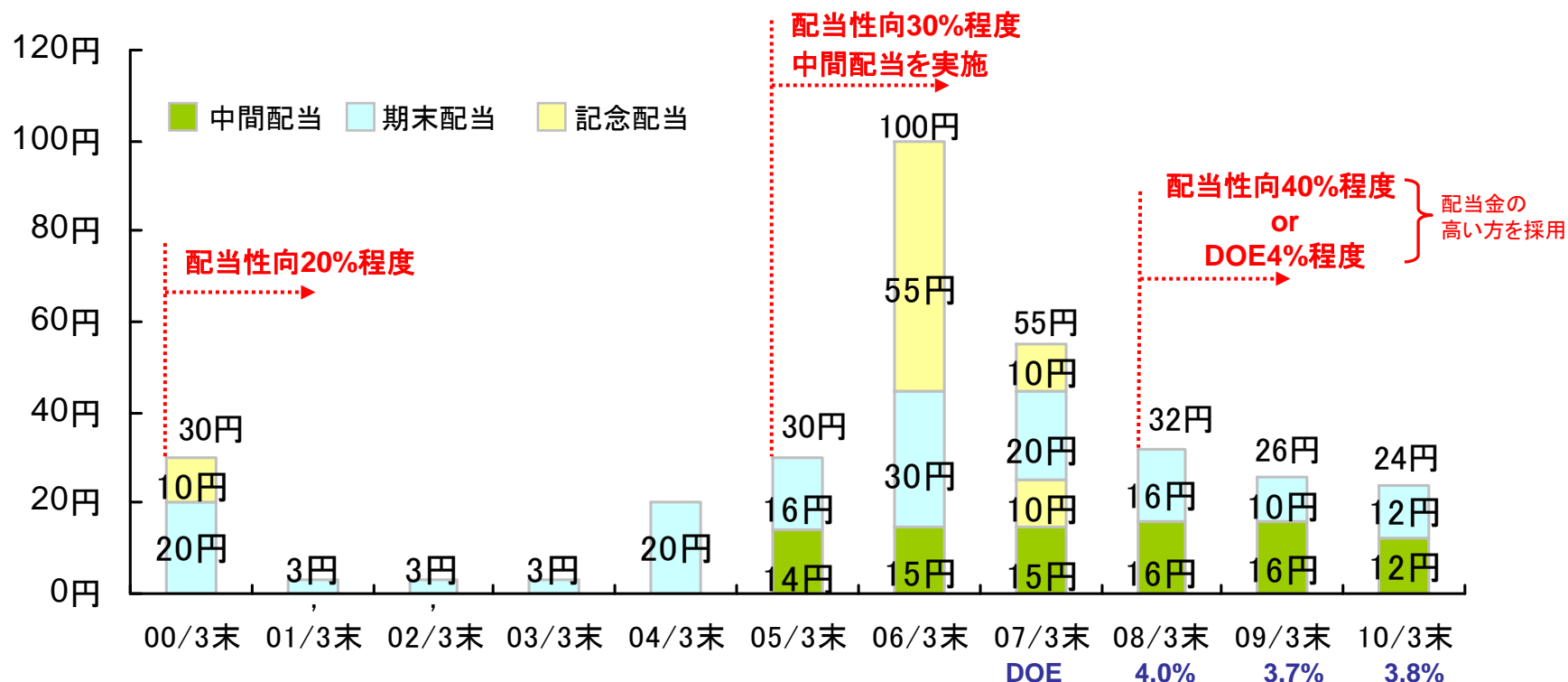
2010年3月末現在



3. 利益還元

配当状況

配当額・配当性向等の推移(1株当たり)



自己株式の消却

				消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い／消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い／消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		合計 27.9%

(参考)
2010年3月末発行済株式数 44,431,386株

お問い合わせ先

いちよし証券株式会社 広報室

TEL:03-3555-6343 FAX:03-3555-2165

<http://www.ichiyoshi.co.jp>

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2010年3月31日現在のデータに基づき作成しております。

商号等 :いちよし証券株式会社 金融商品取引業者

関東財務局長(金商)第24号

加入協会:日本証券業協会 (社)日本証券投資顧問業協会